

ジフテリア・破傷風(DT)2種混合ワクチン についての説明



静岡県立こども病院 予防接種センター

1) 病気の説明

○ジフテリア

原因菌はジフテリア菌です。咽頭ジフテリアは、発熱、嘔吐、頭痛や咳、呼吸困難などが主な症状で、扁桃に白い膜ができます。咳は犬の鳴き声に似た感じになります。声はかすれたり、しわがれたりします。鼻ジフテリアは、鼻の症状が強いものです。毒素により心臓や神経が侵されることもあります。

○破傷風

原因は破傷風菌です。土の中に広く分布しており、けがややけど、すり傷から人の体内に侵入します。体に入った菌は増殖し、毒素を産生して神経を侵します。激しいけいれんが起き、進行していきます。現在でも死亡率の高い疾患です。

2) ワクチンの効果

○ジフテリア

予防接種は大変効果的です。日本ではジフテリア菌はほとんどみられませんが、海外から持ち込まれる危険性があり、予防接種が必要です。予防接種を行うと、約10年間は免疫が持続します。

○破傷風

予防接種の免疫効果は明らかで、初回接種、追加接種で十分な免疫が得られます。追加接種後の免疫は10年以上続きます。

3) ワクチンの特徴

ジフテリア菌と破傷風菌の毒素を精製無毒化したトキソイドを含む不活化ワクチンです。

4) 接種方法

DPT 第Ⅱ期の定期接種では、11歳以上13歳未満で、DT ワクチン 0.1ml を1回皮下注射します。

5) 副反応

第Ⅱ期のDT ワクチンによる副反応はほとんど認められません。

6) 接種後の注意

ワクチン接種後30分間は院内にとどまり、様子を観察してください。接種部位の腫脹、体の発疹、じんましん、気分不良、嘔吐、咳や呼吸困難などの症状が見られたら、直ちに接種した医師か看護師に声をかけて下さい。この間に全く異常が見られなければ、看護師にその旨、一声かけて帰宅して下さい。

7) 帰宅後の注意

激しい運動はさけて下さい。その他はいつも通りの生活を送ることができます。入浴もさしつかえありませんが、注射した部位をこすらないで下さい。